

ワークシートの解答と解説

先生用

〈はじめに〉

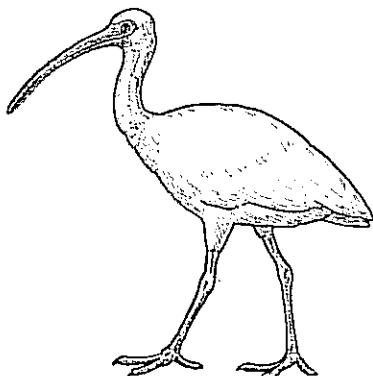
動物園を訪れ、実際に生きている動物を観察したことにより得た体験を、小学校教育で役立てていただけよう作成されたのが、このワークシートです。人間の他にも様々な動物たちが生きていること、みんなが同じ地球上の仲間であり、お互いに関わり合って生きていることを実感するには、まず個体レベルでの動物の理解が必要です。そこで今回は鳥たちのくちばしとあしに注目しました。

野毛山動物園で動物を観察される際に、飼育係員を見かけましたらお気軽に声をおかけ下さい。動物たちのとておきの話を、お聞かせできるかもしれません。このワークシートが児童の知的好奇心をくすぐり、動物に興味を持つきっかけになればと願っています。

〈今回のねらい〉

鳥たちのくちばしやあしは種によってさまざまな形をしています。これは、食べているものや暮らしている環境に大きく関わりがあります。今回は鳥たちを観察することで、鳥たちがどんなものを食べ、どんなところで生活をしているかを想像してもらうことをねらいとしています。

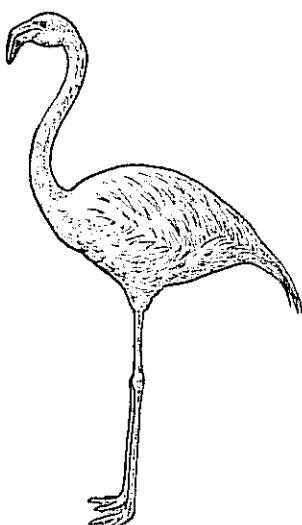
①シロトキ



- ◇分類：コウノトリ目 トキ科
- ◇生息地：北アメリカ南部から南アメリカ北部
- ◇食性：カエルや甲殻類、水生昆虫
- ◇トキの仲間は長く下に湾曲したくちばしをもっています。このくちばしを水中で動かしたり、泥に差し込んだりして、餌を捕獲します。視覚ではなくくちばしの触覚をたよりに捕食するので、濁った水や泥の中の餌でも捕まえることができるのです。

水辺や湿地で餌を探しますが、樹上に巣を作るため木の枝に止まることのできる長い指と、水辺に適応した水かきがあります。

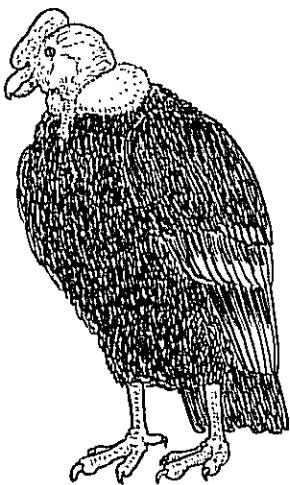
②フラミンゴ



- ◇分類：フラミンゴ目 フラミンゴ科
- ◇生息地：南アメリカ（チリーフラミンゴ）
カリブ海沿岸・ガラパゴス諸島（ベニイロフラミンゴ）
- ◇食性：藻類やプランクトン
- ◇鋭角に曲がったくちばしは、水中の餌をすくうようにして捕るのに役立っています。さらに、くちばしの縁にはクシのような構造があり、隙間から水だけを外に出し、こしとるようにして、小さなエサを食べます。動物園では、フラミンゴ専用のペレットやオキアミを与えています。ちなみに生まれたばかりのヒナは、まっすぐな嘴をしていて、孵化後4～5週頃から曲がりはじめます。

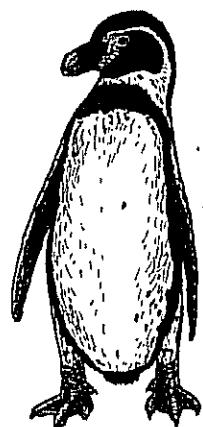
あしの指には水かきが発達し、泥の上や水辺を歩いたりする生活に適応しています。

③コンドル



◇分類：タカ目 コンドル科
◇生息地：南アメリカ西部
◇食性：哺乳類などの死体
◇大型の猛禽類は、食物を見つけ、獲物をつかみ、その肉を引き裂くのに都合の良い、3つの共通点を持っています。①鋭い視覚、②鋭利なわん曲したかぎ爪をもつ強力なあし、③かぎ状のくちばしです。コンドルも猛禽類に属しますが、生きている動物ではなく死んだ動物の肉を主食にしています。そのため、あしの指が長いわりに爪はほんの少し曲がっている程度で、生きた獲物の狩りには適していません。また、動物の死体のにおいを嗅ぎ分ける嗅覚が特に発達しています。

④フンボルトペンギン



◇分類：ペンギン目 ペンギン科
◇生息地：ペルーからチリの太平洋岸
◇食性：魚やイカなど
◇水中で素早く動く魚やイカを確実に捕らえるために、上くちばしの先端は下に曲がり、下くちばしの先端はそれを受け止めるような形になっているので、獲物が簡単にははずれない仕組みになっています。
ペンギンの体重は同じ体長の空を飛ぶ鳥に比べるとはるかに重いので、あしは大きくて丈夫な爪をもち、水かきが発達しています。水中で獲物を追うときの推進力にはつばさ（手）を使うので、あしの水かきは舵取りの役目をしています。陸上で背中を伸ばして二本あしで歩く姿はとても愛嬌がありますが、水の抵抗を少なくて水中を自由自在に泳ぐために適応した体型なのです。

★ このワークシートに対するご感想やご意見、またワークシートづくりへのアドバイスをお寄せ下さい。
今後のワークシートづくりの参考とさせていただきます。
どんなに小さな事でも結構です。ぜひ先生方の声をお聞かせ下さい。お待ちしております。

横浜市立野毛山動物園
〒220-0032
横浜市西区老松町 63-10
tel 045-231-1307
fax 045-231-3842

野毛山動物園ワークシート
みよう!きこう!しらべよう!!
のげやまどうぶつえん まるごとしり隊!!
とりをかんさつし隊!! 2005年10月20日発行